

《第5回クラブ協議会》

二ノ宮 健 クラブ奉仕委員長

事業報告

2008～2009年度R I テーマ「夢をかたちに」を基本に、当地区テーマ「ロータリーで心を耕そう」、鳥越会長のクラブテーマ「いい顔でロータリーを楽しもう」という三本の軸で活動が出来た実り有る1年間でした。昨年、5月には委員会活動計画の準備段階から、各小委員会を中心に大委員会を立上げました。クラブ奉仕委員会、小委員長を併せて、優秀な5名の理事を抱えている委員会です。クラブ内、理事役員会でも、伝達ミスが少なく、前・後期の各小委員会に付いての運営は、皆様の努力と采配で順調に推移しました。後期には、クラブ創立25周年記念事業が開催され、4月12日には25周年記念式典が開催されました。今年度のメイン事業は、25周年記念事業委員会が主力で行われました。クラブ奉仕委員会としては、提起される各小委員会からの個別の報告事項を検討して活動を行い、理事役員会へ報告しました。後期は、大委員会を特に行いませんでしたが、各小委員会の活動に付いては、卓越された皆様の努力、研鑽が有り、委員会活動を行いました。

感想

クラブの親睦のための各小委員会の奉仕活動は、年度当初からの会議を集中した一定の成果が実り、クラブ25周年に向けての会員の友情、親睦の調和が取れた意義ある1年間であったと思います。クラブ発足以来、4分の1世紀が過ぎた今は、世界同時経済不況、新型インフルエンザの流行、テロ、戦争、飢餓貧困など、厳しい世界の社会の現実があり、この地方も一段と厳しさが増して、経済不況が収まらない、目の前の現実が酷いものです。クラブの奉仕の要として「奉仕の理想」を目指すために、会員相互の友情の輪の中心として果たす役割は大きいし、大事であると改めて思います。

隈本幹彦 職業奉仕委員長

事業報告

- ①夫人同伴職業奉仕例会「家庭で出来るエコ」—
2008年9月8日（月）九州電力エコレディーによる講演
- ②職業人表彰例会「この道一筋」—
2008年10月6日（月）
ヒューマンスクール早岐校 松岡志保子様 表彰
- ③職場訪問例会「SHINWA ART GALLERYを訪問」—
2009年2月16日（月）
親和銀行本店のギャラリーを夫人同伴で訪問
- ④ハナミズキ植樹における「四つのテスト」標語ボードの贈呈
相浦西小でハナミズキの植樹に合わせ
「四つのテスト」標語ボードを贈呈
- ⑤従業員招待映画例会—2009年5月11日（月）
シネマボックス太陽に従業員を招いて
「グラントリノ」を鑑賞
- ⑥「四つのテスト」啓蒙—毎月第4例会時の唱和
第4例会時に委員が交代でリーダーとなり「四つのテスト」を唱和

感想

- ①九州電力のエコレディーによる家庭で出来るエコをテーマにして講演をいただいた。自らの職業にプラ

イドを持ち、仕事をやり遂げることで、多くの人々の役に立つということ職業奉仕を実践されていた。御夫人14名出席。

- ②ヒューマンスクール早岐校に勤務の松岡志保子様を表彰。松岡様は女性指導員としてまた、長崎県初の女性検定員としてご活躍中。会社からの信頼も厚く会社を大好きという大変素敵な女性であり、勤続28年の実績とあわせて、表彰に相応しい方でした。
- ③親和銀行所有の芸術、文化の作品の中でしばらく時間を忘れて楽しんでいただきました。参加された皆様には貴重な体験が出来、大変喜んでいただいた事と思います。
- ④「四つのテスト」計画を、地域の学校の日常生活や活動の中に導入していただく事を願い、ハナミズキの木と共に「四つのテスト」標語ボードを贈呈しました。
- ⑤日頃より会社を支えて頂いている従業員へ感謝と、慰労をこめて映画鑑賞会を実施しました。
- ⑥ロータリー活動の基本を毎回確認しました。

宮地正博 社会奉仕委員長

事業報告

- ①ハナミズキ贈呈H. 21. 2. 24、相浦西小学校、同校の25周年の行事として、全校生徒750名とPTA代表の参加のもとで行われた。松尾副会長の講話としてハナミズキの意味と「四つのテスト」ロータリーの活動の内容だった。有意義だった。
- ②冬期室内水泳記録会H. 21. 3. 8、25周年事業として実施された。前日の萩原智子氏の講演
「ワールド・スイム・アゲンスト・マラリア」の募金活動と寄付。
盛大かつ有意義で成果は大きかった。
- ③新世代委員会のサポート
「海洋スクール開校式」「新世代地区セミナー（武雄市への参加）」「地区大会・第2分科会、インターアクト・ローターアクトの集いに参加」

感想

ハナミズキ贈呈、学校の25周年に合せての実施は先生、子供達、PTAの人達にロータリーの活動を知ってもらう良い機会となった。事務局員、窪田明子さんの情報とお世話でした。ローターアクト・インターアクトは大切な事業です。しかし、あまりにもむずかしい。聞けばきく程に。

宮原明夫 国際奉仕委員長

事業報告

- ①国際奉仕の合同委員会を2回開催しました。
（5月16日、8月19日）
- ②中国厦門理工学院と佐世保高専との交流事業への支援を行いました。
 - ・交流事業への経済的支援として35万円を佐世保高専に寄贈しました。
 - ・7月11日（金）：佐世保高専主催の歓迎レセプションに参加
 - ・7月14日（月）：納涼例会に厦門理工学院の学生、先生らを招待
 - ・7月19日（土）：村上寅雄会員宅にて茶道体験
 - ・7月19日（土）～20日（日）：会員宅（鳥越、豊島、

- ④今回の水泳記録会で、マラリア撲滅の為のワールド・スイム・アゲンスト・マラリアを支援するチャリティ募金をお願いして合計20万円をマラリア財団に寄贈できました。
- ⑤また、4月12日のハウステンボスでの記念晩餐会も朝長則男市長、鈴木ガバナーを始め多くのご来賓をお迎えして、懇親部会の都甲委員長のもとで、仁川仁州RCからも19名のロータリアンがお祝いに参加され、和やかなうちにも盛大にディナーパーティができました。

これらの記念行事が善く出来ましたことは、北RC会員の結束と奉仕の精神のお陰ではありますが、鳥越会長と緒方幹事の熱意と越智和博、中山 誠両副委員長の努力に依るところが大でありました。25周年記念特別委員会委員長として成功裏にできたことに対しまして皆様のご協力に感謝をし御礼を申し上げます。

《ニコニコBOX》 蒲池芳明 親睦活動委員

本日のクラブ協議会、緒方幹事を始め、各委員長の皆様
ご苦労様です。

③3月8日（日）に第20回県北地区冬期水泳記録会を記念大会として佐世保市温水プールで主催しました。長崎県内の幼児から高校生までの青少年と、佐世保市と友好都市である中国アモイ市の青少年水泳選手団・総勢39名を含む450名の参加がありました。これはオリンピック代表選手の荻原智子さんによる模範泳法とエキシビジョンレースも行い、講演会とともに大変盛会裏に終了できました。

クラブ会報委員会 委員長 / 永田武義 委員 / 小西宗十 須田 昇 西川正美 中島閨二 (記事担当者 須田 昇)